

i-Con大賞

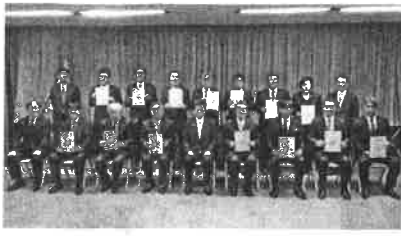
初の授与式開催

石井国交相「業界のトッププランナーに」

国土交通省は15日、建設現場の生産性向上に貢献した直轄工事の受注者に対する「i-Construction大賞」の初の授与式を開いた。写真。石井啓一国交相は「i-Conを中小企業や地方自治体に普及拡大し、生産性革命の深化を積極的に進める」と述べた上で、受賞した12者（10社・2JV）を「地域、業界のトッププランナー」とたたえた。

2017年度に創設したi-Construction大賞は、前年度に完成した直轄のICTM、BIMの推進が建設施工で優れた成果を挙げた10社・2JVが初の栄誉に輝いた。

大臣賞を受けた砂子組



生産プロセスの全体最適

につながら。力強く推進

したい」。カナツ技建工

業の金津任紀社長は「I

CTを積極的に活用し、

働き方改革、生産性向上、

処遇改善に成果を出した

い」と述べ、建設現場へ

のICT導入に意欲を見

せた。

大賞を受賞した12者は

次の通り。

■大臣賞

▽砂子組（北海道）▽

カナツ技建工業（島根県）

■優秀賞

▽小山建設（岩手県）

▽金杉建設（埼玉県）▽

会津土建（福島県）▽新

井組（岐阜県）▽中林建

設（大阪府）▽五洋建設

（東京都）・井森工業

（山口県）JV▽福井組

（徳島県）▽若築建設

（東京都）・あおみ建設

（東京都）JV▽野添土

木（鹿児島県）▽丸政工

務店（沖縄県）

ワーク事業に触れ、「教育訓練の仕組みを地域建設業の共有資産にしていきたい」と述べた。

講演ではまず、「建設技術の新たなステージ」として、i-Const

ruktionにおける人材育成について立命館

大学の建山和由教授が話

した。建山氏はi-Con

nで求められる人材を

「新しいことに前向きに

取り組む意思と姿勢を持

つ人」「目標や問題を明

確にし、その解決方法を

組み立てることができ

る」と指摘した。

さらに、ICTに関し

て「導入することが目的

でなく、企業として目標を決め、その達成のために最善の方法を考えていくことが重要」と強調。

「一段上の技術を目指す

雰囲気現場に醸成し、

創造的な産業を目指して

ほしい」と話した。

担い手の確保・育成に

取り組む企業経営者とし

てフクザワコーポレーシ

ョンの福澤直樹代表取締役

役、長岡塗装店の古志野

純子常務取締役、セカン

ドライフの子安克枝代表

取締役が講演。その後、

講演者らが「人気企業の

秘密」をテーマにパネル

ディスカッションを行っ

た。